

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く(8)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(8)—

#### 1. 始めに

前報(7)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 と ThorensTD124 を使用します。

音源は、新たにモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も、弦楽五重奏です。

DENON OS-7173-NG

モーツアルト 弦楽五重奏曲第 1 番変ロ長調

弦楽五重奏曲第 5 番ニ長超

スメタナ四重奏団

ヨゼフ・スーク (第 1 ヴォオラ)

#### 3. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

DENON 盤ということで、Columbia、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。LINN LP-12 の再生では、DENON の PCM 録音ですが、これまでの生硬な音の印象は解消され、澄んだ切れ味のよい音で、時としてスメタナ四重奏団らしいスピード感のある演奏です。

ThorensTD124 の再生では、DENON の PCM 録音のクールな印象が、これまでの ThorensTD124 のシステムの艶のあるウオームトーンで中和されて、ニュートラルな再生ぶりです。

#### 4. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E の導入および ThorensTD124 のターンテーブルシートの交換などの総合的な効果として、DENON の PCM 録音の生硬でクールな印象を払拭され、LINN LP-12 と ThorensTD124 それぞれの味わいを引き出しています。

以上